

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組
教科担当者：（全組： 森 ）
使用教科書：（ 新編 言語文化 大修館書店 ）
教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、障害に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 言葉と出会う 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直す。	・指導事項 随想の読解方法 ・教材「言葉の森を育てよう」 「漢字と仮名の使い分け」			○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B (1)ア〕 【学びに向かう力】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直すようとしている。	○	○	○	5
	2 古文に親しむ 【知識・技能】 ・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりする。	・指導事項 歴史的仮名遣いの理解 古典文学の読解方法 ・教材「古文への招待」 『宇治拾遺物語』『十二の『子』文字』 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B (1)ウ〕 【学びに向かう力】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	3
	1 定期考査						○	○		1
	3 表現を味わう 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。ウ〕 【学びに向かう力】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解する。	・指導事項 小説の読解方法 ・教材『とんかつ』 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B (1)ウ〕 【学びに向かう力】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	6
	4 随筆を楽しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。	・指導事項 古典（随筆）の読解方法 ・教材『徒然草』 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B (1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 【学びに向かう力】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○		1

2 学 期	5 文化を見つめる 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深める。 ・デザインをとおして、日本文化の特色もについて自分の考えを深める。	・指導事項 随想の読解方法 ・教材「足し算の文化、ほどほどのデザイン」		○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【学びに向かう力】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	○	○	○	3
	6 詩歌の調べ 【知識・技能】 ・詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。 【学びに向かう力】 ・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。	・指導事項 ・教材「春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた」		○	【知識・技能】 ・詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。〔2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。				2
	6 古典に親しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取る。	・指導事項 説話文学の読解方法 ・教材『今昔物語集』『阿蘇の史』 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		○	○	1
	7 物語を受け継ぐ 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項 小説の読解方法 ・教材『羅生門』 ・一人1台端末 等		○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔1)イ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	8
	8 漢文に親しむ 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 漢文訓読の基本 ・教材「訓読のきまり」「格言」「再読文字」「蛇足」「論語」 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 【学びに向かう力】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		○	○	1

3 学 期	9 近代文学に触れる 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。 ・元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。	・指導事項 小説の読解方法 ・教材『夢十夜』『形』 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。 ・元になった古典作品との比較に興味をもっている。	○	○	○	9
	10 ことばと生きる 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。 ・読み取ったことを踏まえて、自分の経験を振り返り、考えを深める。	・指導事項 随想の読解方法 ・教材「祖母が笑うということ」「ことばは光」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【学びに向かう力】 ・時代背景や歴史的事実に興味をもち、筆者の考えを読み取ろうとしている。 ・筆者の経験やものの見方を読み取ることに教務をもち、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	11 物語の広がり 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取る。	・指導事項 古典（物語文学）の読解方法 ・教材『伊勢物語』 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○			○	○		1 合計 70